

平成18年度 第1回理事会議事録

開催日時：平成18年5月22日(金)10時30分～12時30分

場 所：東京医科歯科大学1号館9階会議室

出席者：三村邦裕(理事長)、長村洋一、加藤亮二、
市村輝義、佐藤健次、大西英文、吾妻美子、
今井 正、岩谷良則、大澤 進、狩野元成、
鈴木優治、辰喜亮介、永尾暢夫、信岡 学
利光央監事、森田耕司監事

1. 議事録署名人選任

狩野元成理事、市村輝義理事

2. 報告事項

1) 全国臨床検査技師教育施設協議会(以下、全施協という)から有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会(以下 本協議会という)への移行について

○平成17年12月5日 法人化設立のため、定款を策定し、2校の昭和医療技術専門学校理事長山藤武久氏並びに湘中央学術専門学校理事長稲福全昌氏が社員となることを認め記名押印する。

○平成17年12月12日 全施協役員会において、本協議会の役員(15名)として登録し記名押印する。

○平成17年12月12日 全施協秋期会議にて、定款を承認した。又、運営を円滑に進める為に次の2点が決議された。
①現行の会員校は、法人登記の完了時点で、会員校として継続し、期間は平成18年3月31日とする。但し、平成18年度以降の正式加盟は新たに入会の確認を行う。②役員任期は法人設立から定時総会の終結日までとする。

○平成18年1月11日 法人化の登記が完了し、正式に法人化組織となる。

○平成18年1月17日 法務局において登記簿確認 および印鑑証明カードを作成する。

○平成18年4月21日 正会員入会申請書を発送する。以上、本協議会の設立の経緯として報告された。

2) 名誉会員推薦案について

永年に亘り全施協の発展に寄与された全施協顧問の5名の先生方の功績の説明がされた。定款第5条3項に該当すると認め名誉会員として推薦することが報告された。名誉会員は次の5名となる。北村清吉氏、山藤武久氏、稲福全昌氏、伊藤機一氏、川端邦弘氏

3. 議案審議

1) 第一号議案 平成17年度事業経過報告について
法人化設立、法律改正に伴う施行令に関する行政との折衝、JICAとの国際協力等の活動報告がされた。昨年度事業経過報告について承認された。

2) 第二号議案 平成17年度決算報告について
法人化設立の活動費、法人拠出金及び登記手続き等の事務経費、その他の会議費等の支出が生じた。併せて次年度の繰越金は、304万2248円となることが報告された。昨年度の決算報告について承認された。

3) 第三号議案 平成17年度監査報告について
平成17年度の会計帳簿及び事業報告の内容を監査した結果、会計は正確に処理され、又会務は適正に運営されていると報告された。監査報告について承認された。

4) 第四号議案 平成18年度役員を選任について
本年1月11日に法人化の登記を完了したが、正式な社員は2校である。又、定款に基づく役員選出規定、会費規定等の諸規程がないため、本年度臨時総会までに委員会を立ち上げ検討する。役員も基本的には現行のまま移行する。又、監事に新しく杏林大学森田耕司氏を選任する。平成18年度役員を選任について承認された。

5) 第五号議案 平成18年度事業計画案について
第1回の教育学会の開催、例年の各諸団体との連絡・協議並び臨時総会までに、諸規定の原案策定を行う。平成18年度の計画案について承認された。

6) 第六号議案 平成18年度予算案について
第1回教育学会の開催、国際協力委員会による会議、諸規定策定の委員会等を開催するための諸会議費用並び特別活動費の予算配分を多く計上した。平成18年度予算案について承認された。

7) その他の議案

①正会員入会申請承認案について

平成17年度加盟校75校のうち、宮城県総合衛生学院、福井工業大学、産業医科大学は加盟しない。又、埼玉医科大学保健医療学部と同短期大学は、別々に加盟する。最終的に73校の加盟申請があった。全ての加盟申請を認めることで承認された。

②定款第5条2項の賛助会員について

医歯薬出版株式会社より賛助会員として入会の申し入れがあった。賛助会員として入会が承認された。

③第1回日本臨床検査学教育学会開催について

開催期間：平成18年8月23日(水)～25日(金) 3日間
会 場：東京医科歯科大学大学院キャンパス
従来の夏期研修会を教育学会に変更し、より臨床検査技師教育の発展に結びつけることを目的とする。第1回教育学会を開催することで承認された。

④本協議会編実習書作成について

臨床検査技師教育の指針となる実習書を本協議会が編集し作成する。実習書を作成することで承認された。

平成18年5月22日(金)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議 長	三村 邦裕	印
議事録署名人	狩野 元成	印
議事録署名人	市村 輝義	印

平成18年度 第2回理事会議事録

開催日時：平成18年8月23日(水)10時～12時00分

場所：東京医科歯科大学9階 会議室

出席者：三村邦裕(理事長)、長村洋一、加藤亮二、
市村輝義、佐藤健次、大西英文、吾妻美子、
今井正、岩谷良則、大澤進、狩野元成、
鈴木優治、辰喜亮介、永尾暢夫、信岡学
森田耕司監事

欠席者：狩野元成、利光央監事

1. 議事録署名人選任

加藤亮二理事、市村輝義理事

2. 報告事項

1) 第1回日本臨床検査学教育学会学術大会の現状について
一般演題72演題その内、学生演題が17演題学会参加人数：正会員校176名、学生参加141名祝賀会162名、ランチョンセミナー280名の参加を予定している。記念式典は、来賓として文科省高等教育局医学教育課長 栗山雅秀氏、厚労省医政局医事課長 中垣英明氏等の5名の祝辞をいただくとの報告があった。

3. 議案審議

1) 第一号議案 名誉会員推薦について

和田浩氏(元大東医専学校長)の旧全国臨床検査技師教育施設協議会副会長として功績の説明がされた。定款第5条3項に該当すると認め名誉会員として推薦することを承認された。名誉会員は、次の6名となる。

北村清吉氏、山藤武久氏、稲福全昌氏、伊藤機一氏、川端邦弘氏、和田浩氏

2) 第二号議案 記念式典における顕彰者について

永年に亘り本協議会に対し、貢献された上記の6名の名誉会員の先生方をこの度の記念式典において顕彰する旨の説明がされた。名誉会員の功績を讃え感謝状を贈呈することが承認された。

3) 第三号議案 本協議会編実習書の作成について

本協議会の臨床検査に関する教育普及事業において教材開発を行うことが定められている。臨床検査技師の技術教育の標準となるべき実習書を作成する。内容は臨床検査技師として最低限習得すべき技術を網羅し、より高度な実習にも対応できるものとする。編集を本協議会が行い、印刷、発行、販売を医歯薬出版株式会社で行うこととする。実習書作成について承認された。

4) その他の議案

①第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について
第2回大会長を加藤副理事長にすることで承認された。

②第43回国立大学臨床検査技師教育協議会からの要望内容について

第43回国立大学臨床検査技師教育協議会において、決議された要望内容は、本協議会の中に、臨床検査技師の4年制の大学教育および大学院における教育・研究のあり方について検討する組織の設置であった。

このことに対し、議長は、現時点では、旧協議会の規約を見直し、新しく本協議会の定款に基づく規約を優先して検討し、この秋の臨時総会に提出する意向を述べた。そのため、今回の国立大学の要望内容については、本協議会組織の中の将来構想検討委員会で検討されるべきではないかとの意見を述べ、規約等のあり方によって、今後の検討課題とすることが適当と発言した。これら議長の発言に対し、今後の検討課題とすることで承認された。又、併せて佐藤理事宛(医歯大)に国立大学の要望書が届いていることから、その内容については、規約の中の部会又は組織図等を鑑み、その経過を佐藤理事を通して行うこととして、承認された。

平成19年8月27日(月)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	加藤 亮二	印
議事録署名人	市村 輝義	印

平成18年度 第3回理事会議事録

開催日時：平成18年12月11日(月)10時～12時00分
 場所：東京医科歯科大学1号館7階会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、加藤亮二、市村輝義、
 佐藤健次、大西英文、吾妻美子、今井正、
 岩谷良則、大澤進、狩野元成、鈴木優治、
 辰喜亮介、永尾暢夫、長村洋一、信岡学、
 利光史監事、森田耕司監事

1. 議事録署名人選任

大澤進理事 岩谷良則理事

2. 議案審議

1) 第一号議案 組織運営規程について

①第10条で常務理事(事務局長)とするのではなく、第5条の2項で、常務理事(事務局長)と規定すべきとの意見が会員よりあった。これに対し、第5条は役員についての内容であるため、原案の訂正を図るとした。この訂正について承認された。

②第17条の1項にある誤植について、『専門員会』を『専門委員会』に訂正することが承認された。

2) 第二号議案 役員選考規程案について

役員を選任は、定款第12条に定め、その中で理事及び監事は、別に定める規定により総会で選任される。この原案では、理事長の選考は選挙で行うことを基盤とし、その上で、定款に基づき副理事長及び常務理事は選挙で選ばれた理事長が指名すると説明された。又、第7条の三号について、組織運営規程案第21条の部会長が理事に選任されることとしたが、理事長、副理事長及び常務理事を除いたその他の理事及び監事の選任は、役員選考委員会が推薦する者とするとして、理事組織を明確する。以上のことより第7条の三号は削除することで承認された。

3) 第三号議案 役員選考委員会内規案について
 委員の選任並び会務等の説明を行った。役員選考委員会内規案は原案通り、承認された。

4) 第四号議案 顕彰規程案について

本規定案は本協議会の発展に寄与した者に、その業績を讃え、臨床検査技師教育の向上に対する意識の高揚に資することを目的として設けることとする。顕彰の種類第6条二号の教育功労賞について、その文面の末尾に『及び施設』を追加する。第6条四号の優秀研究賞の名称を『学術賞』に改めることについて、岩谷理事は、同四号の名称は、学術賞の方が良いと述べた。又、本臨床検査学教育学会の主軸を教育に関する内容とすべきであり、専門分野での研究発表は、本学会以外の専門学会で発表し、すみ分けが必要との意見を述べた。その意見に対し、議長は、教育の発展には、臨床検査学の学問体系の構築と教育技術の開発が大切であり、そのためには若手教員を育て、教員の質向上を図ることを目的とし、専門分野での研究発表の場を設けることも必要と述べた。前回同様に専門分野での研究発表も含めた学会とし、一部顕彰規程案の訂正を行うことで承認された。

5) 第五号議案 日本臨床検査学教育学会運営規程案について

運営規程案の説明の後、永尾・鈴木理事から会誌の発行及び部数はどのようにするのかとの質問があった。議長は、まず学会運営規程案を成立させた後、会誌の作成時期や学生、教員、各学校の図書館等への配布をこれからの検討課題とする必要があると回答した。学会運営規程案について、原案の通り承認された。

6) 第六号議案 会費規程案について

平成19年度からの会費値上げについて、本法人の事業目的の一つでも多く達成するには、現行の会費では十分な活動が行い難い。さらに具体的な活動として、各委員会の積極的な活動、学会誌の発行、ホームページの充実、本協議会設立50周年に向けての準備費用等に使用することとの説明がされた。会費規程案について原案通り、承認された。

7) 第七号議案 会計規程案について

会計業務を正確に行い、運営状態を明らかにする目的で策定したと説明された。会計規程案について原案通り、承認された。

8) 第八号議案 旅費規程案について

役員、委員等が、会務のために行動する場合に支給する規程であると説明された。旅費規程案について原案通り、承認された。

9) その他の審議事項(役員選考委員の選任、新規入会の正会員)について

①役員選考委員の選任について

本委員は、規程により協議会理事長の推薦により理事会で審議し、総会で承認される必要があるとの説明がされた上で、佐藤剛氏(弘大)、小河原はつえ氏(群大)、伊藤昭三氏(東京文短)、渡辺正友氏(新潟医専)、鈴木敏恵氏(文京医専)の5名が役員選考委員として推薦された。役員選考委員の選任について承認された。

②新規入会の正会員について

帝京大学医療技術学部臨床検査学科より定款第6条に基づく入会申請及び会費納入があった。教育内容の説明がされた上で、帝京大学の加盟は承認された。

3. 報告事項

1) 日本臨床検査同学院は遺伝子分析科学認定士制度による第1回認定試験を平成19年6月17日(日)、東京大学医学部にて実施する。受験資格は臨床検査技師だけでなく広く他の分野も含め、学生も受験できるため会員校への周知等、本協議会として協力することが報告された。

2) 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について

開催期間：平成19年8月27日(月)～29日(水)
 会場：香川県民ホール
 大会長：加藤 亮二氏(香川県保大)
 副大会長：岩谷 良則氏(阪大)
 実行委員長：大澤 進氏(九大)
 副実行委員長：吾妻 美子氏(高知短)
 さらに、加藤第2回大会長より学術大会全体の流れが報告された。

平成19年8月27日(月)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	大澤 進	印
議事録署名人	岩谷 良則	印

平成19年度 第1回理事会議事録

開催日時：平成19年5月21日(月)10時～12時30分
 場所：東京医科歯科大学1号館9階会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、市村輝義、佐藤健次、
 大西英文、吾妻美子、今井正、岩谷良則、
 大澤進、狩野元成、鈴木優治、永尾暢夫、
 信岡学、加藤亮二、長村洋一、
 利光史、森田耕司、森田耕司監事
 欠席者：辰喜亮介

1. 議事録署名人選任

岩谷良則理事、永尾暢夫理事

2. 報告事項

1) 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について
 文部科学省並びに厚生労働省の後援名義の使用も許可され、
 実行委員が精力的に活動している。又、シンポジウム・特別
 講演・教育講演・式典等の概略並びに演題募集、プログラム・
 抄録集作成等、今後の作業予定を付け加え報告された。

3. 議案審議

1) 第一号議案 平成18年度事業経過報告について
 平成18年度は第1回日本臨床検査学教育学会学術大会の開催
 並びに本協議会の諸規程策定等の活動報告がされた。以上の
 事業経過報告について承認された。

2) 第二号議案 平成18年度決算報告について
 収支計算書に基づき、平成18年度は、本協議会の法人化設立
 に伴う法人拠出金、法人設立費等について、法人税法の規定
 に従って説明された。併せて次年度の繰越金が、330万8
 953円であると報告された。以上の決算報告について承認
 された。

3) 第三号議案 平成18年度監査報告について
 平成18年度の会計帳簿及び事業報告の内容を監査した結果、
 会計は正確に処理され、又会務は適正に運営されているとの
 報告がされた。以上の監査報告について承認された。

4) 第四号議案 次期(平成19・20年度)理事・監事の選任
 について

役員選考規程第7条第二号並びに同規程第8条の規定に基づ
 き、役員選考委員会より理事12名、監事2名が推薦された。
 その内訳は、4年制及び3年制教育機関からそれぞれ7名、
 北海道・東北地区1名、関東・中部・甲信越5名、近畿・中
 国・四国地区5名、九州・沖縄地区3名である。次期役員の
 役員選考委員会からの推薦について承認された。

【平成19・20年度役員(役選委推薦)】
 理事：信岡学(北医専)、鈴木優治(埼玉県大)、森田耕司(杏
 林大)、芝紀代子(文京学大)、今井正(東京文短)、長村
 洋一(千葉科大)、岩谷良則(阪大)、吾妻美子(高知学短)、
 永尾暢夫(神戸常盤短)、小市加陽子(近畿医専)、大澤
 進(九大)、利光史(美萩野医専)
 監事：合田清(神戸学大)、小田力(九州医専)

5) 第五号議案 平成19年度事業計画案について
 第2回の教育学会の開催、例年の各諸団体との連絡・協議並
 び今年度臨時会議まで、国家試験出題基準作成及び学会誌
 創刊号発行すると説明された。平成19年度計画案について承
 認された。

6) 平成19年度予算案について
 今年度の正会員会費は5万円を請求し、一般会費収入の予算
 額は365万円(73校)となる。又、第2回教育学会の開催
 催、国家試験出題基準作成及び学会誌創刊号発行に伴う会議

等を開催する予定であり、会議費用の支出に予算配分を多く
 する。又、本協議会の50周年に向けて積立金を計上すると
 説明された。以上の平成19年度予算案について承認された。

7) 学会評議員案について

日本臨床検査学教育学会運営規程第7条第二号の規定に基づ
 き、本学会は100名以内の評議員を置く必要がある。この
 度、正会員に評議員の自薦を募ったところ、38校より74
 名の応募があった。これらについて、同規程第9条第2項の
 規程により、総会の承認を得た後、委嘱すると説明がされ
 た。以上の学会評議員案について承認された。

8) その他の議案

次期副理事長並びに常務理事について
 本年度定時総会の次期理事長選挙において総会の信任を得ら
 れた場合、定款第12条第2項の規定に基づき、次期副理事
 長に加藤亮二(香川県保大)、市村輝義(天理医)、佐藤健次
 (医歯大)、狩野元成(大東文大)の4名、常務理事に大西英
 文(昭和医専)1名を指名し、総会の承認を得ることとする。
 定款第12条第2項の規定に基づく役員の選任について承認
 された。

4. その他

1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会について、
 以下の内容で説明がされ、承認された。

大会長：大澤進理事(九大)、
 開催地：福岡県
 会期：平成20年8月下旬、
 担当校：九州大学

2) 部会について
 組織運営規程第21条に基づき、4年制並びに3年制教育部会
 について、

①4年制教育部会会長：狩野元成氏(大東文大)
 ②3年制教育部会会長：今井正氏(東京文短)
 ③原則として、部会費の徴収は行わず、部会に関わる会場費、
 講演料等は、本協議会が負担する。
 以上の説明がされ、4年制・3年制教育部会会長の選任及び部
 会活動費について承認された。

3) 退会について、
 兵庫障害者職業能力開発校は、平成19年度末に学科を廃止す
 るため、退会する旨の届出があり、平成20年度の正会員数は
 73校となることを確認した。

4) 養成施設に係る事務の取扱権限の改正について、
 申請書等の宛名が厚生労働大臣から関東信越厚生局長に取扱
 権限が改正されるとの説明がされた。定時総会資料に掲載し、
 会員校へ周知することで承認された。

5) (株)じほう連載企画について
 臨床検査技師探訪(仮題)は、大きな環境変化の中にある養
 成校の現状や教育上の配慮等を紹介し、問題点の解決につな
 げるものであると説明された。本協議会として、会員校に理
 解と協力を求めることで承認された。

平成19年5月21日(月)
 有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	岩谷 良則	印
議事録署名人	永尾 暢夫	印

平成19年度 第2回理事会議事録

開催日時：平成19年8月27日(月)10時～11時20分
 場所：香川県民ホール・北館4階 大会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、加藤亮二、市村輝義、
 佐藤健次、大西英文、信岡学、鈴木優治、
 森田耕司、芝紀代子、今井正、長村洋一、
 岩谷良則、吾妻美子、永尾暢夫、大澤進、
 利光央、小市加陽子、
 合田清監事、小田力監事
 欠席者：狩野元成

1. 議事録署名人名選任

加藤亮二理事、市村輝義理事

2. 報告事項

1) 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について
 一般演題107演題その内、学生演題は28演題である。
 学会参加人数は正会員校188名、学生参加は77名である。
 式典・懇親会は148名、ランチョンセミナー165名、イ
 ブニングセミナー116名の参加予定であることが報告され
 た。

3. 議案審議

1) 第一号議案 本協議会理事の役割分担について
 組織運営規程第11条及び第17条の規程に基づき、本協議
 会の執行機関及び専門委員会の配置が説明された後、平成
 19・20年度理事会の役割分担について以下のように審議され
 た。

○組織運営規程第12条に基づく副理事長及び常務理事の担
 当について

- ・総務部を市村輝義副理事長(天理医)
- ・渉外部を狩野元成副理事長(大東文大)
- ・広報部を佐藤健次副理事長(医歯大)
- ・学術部を加藤亮二副理事長(香川県保大)
- ・会計部を大西英文常務理事(昭和医専)

副理事長及び常務理事の担当について、承認された。

○組織運営規程第17条に基づく理事の専門委員会の担当に
 ついて

- ・将来問題検討委員会：今井 正理事(東京文短)
- ・調査研究委員会：鈴木 優治理事(埼玉県大)
- 吾妻 美子理事(高知短大)
- ・地区組織委員会：信岡 学理事(北医専)
- ・広報委員会：芝 紀代子理事(文京学大)
- 長村 洋一理事(千葉科大)
- 小市加陽子理事(近畿医専)
- ・国際協力委員会：利光 央理事(美萩野医専)
- ・学会委員会：大澤 進理事(九大)
- ・研修委員会：永尾 暢夫理事(神戸常盤短)
- ・編集委員会：岩谷 良則理事(阪大)

組織運営規程第17条に基づく理事の専門委員会の担当につ
 いて承認された。

2) 第二号議案 地区組織委員会、将来問題検討委員会運営
 費について

予算額は1校4,000円とし、会員校数に応じ振り分け、
 支払いは会場費、講師謝礼金、その他印刷費・交通費及び機
 器レンタル料とする。又、費用の請求は「部会行事に
 関する申請書」に基づき行くと説明された。地区組織委員会、

将来問題検討委員会運営費について承認された。

3) 第三号議案 日本臨床検査学教育学会評議員会運営細則
 (案)について

学会評議員会運営細則(案)についての説明がされ、原案通り
 承認された。続けて、日本臨床検査学教育学会役員(理事及
 び評議員)一覧が示され、本協議会理事18名及び正会員校
 の教員77名から評議員の自薦があったことが報告された。
 理事18名並び自薦77名の総勢95名を評議員にすること
 で承認された。

4) 第四号議案 50周年記念行事について

本協議会は1959年に発足し、2009年に創立50年を迎える。
 この間、我が国の臨床検査技師教育を通じ、常に日本の医療
 及び公衆衛生の発展に寄与し、本協議会を支えた先人のご尽
 力に感謝すると共に、今後の本協議会の一層の飛躍を願い記
 念行事を開催するとの主旨説明がされた。50周年記念行事
 の開催について承認された。

5) 第五号議案 第3回・第4回日本臨床検査学教育学会学
 術大会について

第3回学会は福岡で開催し、大会長は大澤進理事、会期は平
 成20年8月下旬、担当校は九州大学とする。又、第4回学
 術大会は東京で開催し、会期を平成21年8月下旬にすると
 説明された。第3回・第4回教育学会の開催について承認さ
 れた。

6) 第六号議案 国家試験合格発表の早期化について(国立
 大学臨床検査技師教育協議会の要望書)

本件は平成19年8月6日付け、国立大学臨床検査技師教育協
 議会からの要望書として本協議会宛に、問い合わせがあった。
 本件の経緯は、平成11年11月厚生省健康政策局医事課試験
 免許室より学校・養成所を対象にアンケート調査が実施され
 たが、早期化に慎重な意見もあり見送られた。又、平成15
 年11月にも合格発表の早期化のアンケート調査を実施した
 結果、カリキュラム等の都合に実現しなかった。国家試験の
 合否が不明な状況での就職は卒業生にとって不利益であり、
 年内に再度アンケート調査を行い、早期化に向けて意見をま
 とめる意向であるとの説明がされた。国家試験合格発表の早
 期化についてはアンケート調査を実施することで承認された。

7) 第七号議案 新規入会の正会員について

中部大学生命健康科学部生命医科学科より定款第6条に基づ
 き、本年8月21日付け、理事長宛に当該年度の会費を添えて
 所定の入会申請書類の提出があったとの報告がされた。教育
 内容の説明がされた上で、中部大学の新規入会について承認
 された。平成19年度加盟校は74校となることが確認された。

平成19年8月27日(月)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議 長	三村 邦裕	印
議事録署名人	加藤 亮二	印
議事録署名人	市村 輝義	印

平成19年度 第3回理事会議事録

開催日時：平成19年12月13日(木)10時～12時30分
 場所：東京医科歯科大学 1号館9階会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、加藤亮二、市村輝義、
 佐藤健次、狩野元成、大西英文、信岡学、
 鈴木優治、森田耕司、芝紀代子、今井正、
 長村洋一、岩谷良則、吾妻美子、永尾暢夫、
 小市加陽子、大澤 進、利光 央、
 合田清監事、小田力監事

1. 議事録署名人選任

森田耕司理事、小市加陽子理事

2. 報告事項

1) 新規入会の正会員について

中部大学生命健康科学部生命医科学科の入会により本協議会の正会員数は74校になった。

2) 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について 【事業報告】

開催期間：平成19年8月27日(月)～8月29日(水)

会場：香川県県民ホール

メインテーマ：『知の継続』

—臨床検査技師教育の更なる発展へ—

大会役員：大会長 加藤亮二(香川県保大)
 副大会長 岩谷良則(阪大)
 実行委員長 大澤 進(九大)
 副実行委員長 吾妻美子(高知短)
 事務局長 大西英文(昭和医専)
 担当校 香川県立保健医療大学

後援：文部科学省、厚生労働省

入場者：332名(3日間延べ人数)

以上の報告がされた。

3. 議案審議

1) 第一号議案 組織運営規程の一部修正について

第11条、第13条、第14条及び第18条の修正箇所が説明された。旧組織運営規程では第11条第一号に総務部と渉外部を併記しており、その下に置く専門委員会の統括が困難である。新規規程では、以下のように修正することで、承認された。

一、総務部、二、渉外部と独立させる。

総務部は第13条、渉外部は第14条とする。

この改訂に伴う修正事項

・専門委員会第18条

第3項 総務部の下に教材開発委員会、調査研究委員会を置く。

第4項 渉外部の下に将来問題検討委員会、地区組織委員会を置く。

2) 第二号議案 委員会等の会則について

1) 総務部の下に置いた①教材開発委員会会則(案)及び②調査研究委員会会則(案)について、原案どおり承認された。

(2) 将来問題検討委員会の下に置いた③4年制教育部会則(案)、④3年制教育部会則(案)について、現在、臨床検

査技師教育は大学及び大学院において実施している。4年制部会の名称は時代にそぐわない。従って、部会の名称を4年制部会は大学・大学院教育部会、又、3年制教育部会は、短期大学・専門学校部会に改めるべきとの提案がされた。部会会則(案)について、名称の変更を行うことで承認された。

(3) 地区組織委員会、⑤地区部会会則(案)について、原案の通り承認された。

(4) 広報部、⑥広報委員会会則(案)及び⑦国際協力委員会会則(案)について、原案の通り承認された。

(5) 日本臨床検査学教育学会運営委員会⑧編集委員会会則(案)及び⑨研修委員会会則(案)について、原案の通り承認された。

3) 第三号議案 教育学会評議員会内規の一部修正について
 評議員会内規の修正箇所の説明がされた上で、日本臨床検査学教育学会評議員会運営細則(案)は原案の通り承認された。

4) 第四号議案 第3回日本臨床検査学教育学会開催について

以下のように開催することで承認された。

開催期間：平成20年8月20日(水)～22日(金)

会場：九州大学医学部百年講堂

内容：特別演、シンポジウム、パネルディスカッション等予定

4. その他の事項

1) 「遺伝子分析科学認定士」制度について

平成19年6月に第1回認定士試験が実施され103名の遺伝子分析科学認定士が誕生した。第2回認定士試験は平成20年6月14日(土)に実施される。多くの学生が参加できるように協力をすることで承認された。

2) 日本衛生検査所協会(以下 日衛協という)発行の単行贈呈並び新刊のご案内について

本協議会に日衛協から贈呈のあった単行本「ここが知りたい! 病氣と検査の話」は、正会員校に20冊ずつ配布すると説明された。又、新刊「だから・・・心を込めて伝えたい」は希望者に特別価格1,000円にて販売する。申込み先は本協議会事務局が行うと説明された。単行贈呈並び新刊の案内を実施することで承認された。

平成19年8月27日(月)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	森田 耕司	印
議事録署名人	小市 加陽子	印

平成20年度 第1回理事会議事録

開催日時：平成20年5月23日(金)10時～12時30分

場所：東京医科歯科大学1号館9階会議室

出席者：三村邦裕(理事長)、佐藤健次、大西英文、
信岡学、芝紀代子、今井正、吾妻美子、
大澤進、利光央、小市加陽子、永尾暢夫、
加藤亮二、狩野元成、鈴木優治、森田耕司、
岩谷良則

合田清監事、小田力監事

欠席者：市村輝義、長村洋一

1. 議事録署名人選任

今井正理事、吾妻美子理事

2. 報告事項

1) 編集委員・研修会委員の選任について

平成20年1月30日メール審議の結果、以下の9名が編集委員となると報告がされた。[市原清志(山大)、江本正志(群馬大)、奥村伸生(信大)、北里英郎(北里大)、熊取厚志(千葉科大)、戸塚美(歯函大)、森山隆則(北大)、横井昭(藤田保衛短)、横井豊治(名大)]、研修会委員6名[岡野こずえ(山大)、奥宮敏可(熊大)、所司睦文(川崎医短)、寺平良治(藤田保衛大)、羽山正義(信大)、森田耕司(杏林大)]

2) 国家試験の早期発表について、

本年5月10日のアンケート調査の結果、正会員73校中、卒業証明書を3月20日迄に発行可能62校、修業証明書の発行可能11校(卒業証明の発行は不可と回答した7校を含む)、不可能の回答は0校である。本年度から3月中に国家試験発表ができるよう厚労省と協議を進めると報告がされた。

3) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会中間報告

文科省並び厚労省の後援名義の使用が許可され、現在、特別講演・シンポジウム・教育講演・教育研修等の準備を進めている。今後、プログラム、抄録集等の作成を行うとの報告がされた。

3. 議案審議

1) 第一号議案 平成19年度事業経過報告について

第2回学術大会の開催、国家試験出題基準の検討資料作成及び諸規程の改訂等の活動報告がされた。以上の事業経過報告について承認された。

2) 第二号議案 平成19年度決算報告について

収支計算書に基づき、平成19年度の確定法人都民税、確定法人事業税等の説明及び次年度の繰越金が802万6516円となると報告された。以上の決算報告について承認された。

3) 第三号議案 平成19年度監査報告について

平成19年度の会計帳簿及び事業報告の内容を監査した結果、会計は正確に処理され、又会務は適正に運営されていると報告された。以上の監査報告について承認された。

4) 第四号議案 平成20年度事業計画案について

第3回学術大会の開催、各諸団体との連絡・協議並びに学会誌発刊を行う。又、平成21年度の次期理事長選挙及び理事・監事の選出の準備を行うとの説明がされた。以上の計画案について承認された。

5) 第五号議案 平成20年度予算案について

今年度の正会員会費は5万円、賛助会員費は10万円を請求し、一般会費収入の予算額は380万円(前年度未納含む)となる。又、第3回学術大会の開催及び各委員会等の会議費用並び学会誌創刊号発刊に向けて印刷費の予算配分を多く計上するとの説明がされた。以上の予算案について承認された。

6) その他の議案

①理事の退任・解任等について

理事の退任・解任等について以下のように承認された。平成20年度3名の理事が退任するが、定款第11条第1項に定める理事の定員数を満たしており、補充はしない。

【理事退任】

ア) 加藤副理事長は一身上の理由

イ) 市村副理事長は定年退職(天理医学技術学校)

ウ) 長村理事は非会員校(鈴鹿医療科学大学)へ転任

【短期大学・専門学校校部会長解任】

今井理事は3年制(東京文短)をから4年制(香川県保大)教育機関に転任

【短期大学・専門学校校部会長後任】

利光理事(美萩野医専)

②学術誌の発行について

編集委員会は投稿規定の策定等、今年度中の創刊号発行を目指し活動する。学術誌の発行について承認された。

4. その他

1) 第4回日本臨床検査学教育学会学術大会について

佐藤第4回大会長より以下の内容で説明された。

開催期間：平成21年8月19日(水)～8月21日(金)3日間

会場：東京医科歯科大学

2) 退会について

埼玉医科大学短期大学は平成20年3月末に臨床検査学科の廃止に伴い、退会届の提出があり、平成20年度の正会員数は73校となることを確認した。

平成20年5月23日(金)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	今井 正	印
議事録署名人	吾妻 美子	印

平成20年度 第2回理事会議事録

開催日時：平成20年8月20日(水)10時～11時20分

場所：九州大学医学部百年講堂 中ホール3

出席者：三村邦裕(理事長)、佐藤健次、大西英文、
鈴木優治、森田耕司、芝紀代子、今井正、
岩谷良則、吾妻美子、永尾暢夫、小市加陽子、
大澤進、利光央、狩野元成、信岡学
合田清監事、小田力監事

1. 議事録署名人選任

利光央理事 森田耕司理事

2. 報告事項

1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会開催について
学会申込み総数は204名(内学生30名)、式典及び懇談会133名、ランチョンセミナー175名、イブニングセミナー107名、市民講座57名が参加予定である。又、一般演題数96演題(内学生33演題)であったことが報告された。

3. 議案審議

1) 第一号議案 名誉会員について

本協議会元副理事長の市村輝義氏(元天理医 副校長)は永年に亘り本協議会に貢献されたことから名誉会員に値すると説明があった。定款第5条3項に該当する者であると認め、名誉会員に推薦することが承認された。名誉会員は次の7名になる。北村清吉氏、山藤武久氏、稲福全昌氏、伊藤機一氏、川端邦弘氏、和田浩氏、市村輝義氏

2) 第二号議案 顕彰について

顕彰規程第3条及び第4条に基づき、顕彰委員の委嘱並びに顕彰委員会内規の策定(来年度定時総会まで)を行う。又、顕彰は第4回学術大会の開催に併せて行うと説明された。を行う。顕彰委員の委嘱並びに顕彰委員会内規の策定及び顕彰の次期について承認された。

3) 第三号議案 模擬試験の内規について

模擬試験作成実施に関する内規及び実施要領を策定し、来年度実施するとの説明があった。模擬試験の内規等の策定及び実施することについて承認された。

4) 第四号議案 学会誌発行について

臨床検査学教育投稿規定(案)に基づき、今年度中の創刊号発行に向けて、原稿依頼等を進めるとの説明がされた。学会誌創刊号の発行について承認された。

5) 第五号議案 部会活動費について

予算は1校当たり4,000円を配分しているが、部会活動を行うために予算の増額を求める要望があった。部会は個別の問題点を議論する場として重要であり、活発な活動は、協議会の発展にも繋がることから、活動内容を吟味した上で増額を認めることとすると説明された。部会活動費について承認された。

6) 第六号議案 第4回日本臨床検査学教育学会学術大会について

以下のように承認された。

①大会役員

大会長：佐藤 健次氏(東京医歯大大学院教授)

副大会長：芝 紀代子氏(文京学園教授)

伊藤 昭三氏(東京文化短大教授)

②大会実行委員

実行委員長：次期大会長

副実行委員長：松浦 雅人氏(東京医歯大大学院教授)

担当校：東京医科歯科大学

③実務委員

プロパティ委員長：戸塚 実氏(東京医歯大大学院教授)

事務局長：大西 英文氏(昭和医専副校長)

7) 第七号議案 その他

①大学検査科学専攻微生物学教員懇談会(以下「微生物学懇談会」という)との協働について

本協議会宛に微生物学懇談会より感染症検査技師養成の課題を教員、臨床検査技師、学生等と共有することを目的とした特別講演会の企画に共催するよう要望があったとの説明があった。本企画の主旨に賛同し共催することで承認された。

②評議員の資格について

評議員会則第7条第2項の規定により、2年連続の欠席は退任となる。一方、当日の出欠確認の問題及び開催通知の遅れによる、やむを得ず欠席となる事例があったと報告された。評議員の任期は2年(日本臨床検査学教育学会運営規程第11条第3項)と定めていることから、来年度に再び選任を行う。又、第4回学術大会より、学術大会初日の11時30分～12時30分に評議員会を開催することで承認された。

4. その他

①厚生労働省からの「養成所等における微量採血のための穿刺器具の取扱に係る周知徹底及び調査の実施について(依頼)」について

本件は関東信越厚生局長より平成20年6月17日付、関厚発第0617031号にて各養成所(施設)の設置者宛に郵送されていると報告された。本協議会は問い合わせ等に対応することで承認された。

②第5回日本臨床検査学教育学会学術大会開催について

開催地は弘前大学医学部保健学科、

大会長は木田和幸(同大学教授)で行うと説明された。

第5回学術大会の開催について承認された。

平成20年8月20日(水)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議長	三村 邦裕	印
議事録署名人	利光 央	印
議事録署名人	森田 耕司	印

平成20年度 第3回理事会議事録

開催日時：平成20年12月12日(金)10時～12時30分
 場所：東京医科歯科大学 1号館9階会議室
 出席者：三村邦裕(理事長)、佐藤健次、大西英文、
 鈴木優治、森田耕司、芝紀代子、今井正、
 岩谷良則、吾妻美子、永尾暢夫、小市加陽子、
 大澤進、利光央、狩野元成、信岡学
 合田清監事、小田力監事

1. 議事録署名人選任

利光央理事、吾妻美子理事

2. 報告事項

1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会について大会役員、評議員並びに事務局の協力のもと、盛況の内に閉会することができたことと謝意があった。その上で、事業報告及び収支報告が行われた。

【事業報告】

①会期 平成20年8月20日(水)～22日(金)
 ②会場 九州大学医学部百年講堂
 ③メインテーマ 『知の実践と新世紀を拓く』
 —臨床検査技師の教育と研究の将来—

④大会役員

大会長 大澤 進 (九大)
 副大会長 利光 央 (美萩野医専)
 実行委員長 佐藤健次 (医歯大)
 副実行委員長 杉島節夫 (九大)
 事務局長 大西英文 (昭和医専)
 担当校 九州大学
 実務委員責任者 藤本秀志 (九大)
 実務委員(九大) 岡村健、梅村創、渡辺寿美子、
 永淵正法、田宮貞史、水上令子、
 木村泰、大堀晶子、檜山由香里、
 香取尚美

(昭和医専)

⑤後援 文部科学省、厚生労働省

⑥会場入場者 337名(3日延べ人数)

【収支報告】

収入の部合計 4,781,848円

支出の部合計 4,781,848円

以上のことが報告された。

2) 第4回日本臨床検査学教育学会学術4大会について「新たな50年への出発」(臨床検査の現場と連携した教育・研究体制の実現)を主題として開催する。概要は以下の通りである。

①会期 平成21年8月19日(水)～21日(金)

②会場 東京医科歯科大学

③大会役員

大会長 佐藤健次(医歯大)
 副大会長 紀代子(文京学大)、伊藤昭三(東京文短)

④大会実行委員

実行委員長 木田和之(弘大)
 副実行委員長 松浦雅人(医歯大)
 担当校 東京医科歯科大学

⑤実務委員

プロム委員長 戸塚実(医歯大)
 事務局長 大西英文(昭和医専)

文部科学省並びに厚生労働省の後援名義の使用許可の申請等今後の作業予定を付け加えた。以上のことが報告された。

3) 学会誌創刊号発行について

本年10月17日付けE-mailによる日本臨床検査学教育学会編集委員会「学会誌」に関する理事会審議の結果、第1号議案 学会誌表紙(案)について、第2号議案 教育機関紹介特集号の発行のお知らせとお願い(案)(正会員校への依頼分)について、第3号議案 教育機関紹介の作成要項(案)についての3つの議案は、全て承認されたと報告があった。又、意見及び指摘事項は以下の①～④があった。①学会誌表紙の字体を大きくした方がよい。②教育機関紹介に各学校の臨地実習施設を載せては如何か。③教員の紹介についての管理、個人情報の保護・取扱を検討すべき。④第1号議案 学会誌表紙(案)の発行日が2008.3.1となっている。これらの意見及び指摘事項

項について、①学会誌表紙の字体を太くし、レイアウトを一部変更する。②各学校の臨地実習施設を掲載する。それに伴い、会員校の協力を要請する。③教員の紹介についての管理、個人情報の保護・取扱は、岩谷編集委員長と再度協議をした上で、議事に掛ける。④の発行日については、『2009.3.1』に訂正する。以上の意見及び指摘事項について報告された。

4) 大学検査科学専攻微生物学教員懇談会(以下 大学微生物懇談会という)との共催について 大学微生物懇談会の臨床検査学教育特別講演について以下の説明があった。

主 題：感染症の脅威に立ち向かう

—感染症検査技師教育の視点から—

日 時：平成21年2月8日(日)午後1時～午後5時

会 場：北里大学白金キャンパス・コンベンションホール
 住所 東京都港区白金5-9-1

参加費：無料

本協議会事務局を通じ、文科省並びに厚労省の後援名義使用申請を提出すると共に、会員校に周知し、参加を呼びかける。以上のことが報告された。

5) 平成20年度 顕彰委員会報告について

検討内容は、①顕彰の実施時期については、平成21年5月、本協議会定時総会において行う。②顕彰の種類については、a) 永年精励賞、b) 教育功労賞、c) 名誉会員証、d) 学術賞の4賞とする。③顕彰者の推薦については、a) 永年精励賞及びb) 教育功労賞は正会員校等に依頼する。d) 学術賞は当面、投稿された論文により決定する。以上のことが報告された。

その他

①国家試験模擬試験(近畿・中国・四国部会)の事業収益金寄付について

近畿・中国・四国部会 前会長 市村輝義氏より過去18回に亘り実施された臨床検査技師国家試験模擬試験の事業収益金310万円が本協議会へ寄付された。有意義な使い方を検討することが報告された。

②平成20年度模擬試験会計の中間報告(近畿・中国・四国部会)について

本年度の模擬試験申込み校数：38校、模擬試験収入は、2,426,200円(1,400円×1,733部)、支出は、2,703,468円(見込み)となり、収支は、-277,268円となる見込である。来年度は会員校に周知し、模擬試験申込み校数の増加を図ることが報告された。

3. 議案審議

第一号議案 有限責任中間法人から一般社団法人への移行について

有限責任中間法人日本臨床検査学教育協議会は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、平成20年12月1日から自動的に「一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会」に移行された。一般社団法人を承認する場合は、平成21年度の定時総会終結の時までに、名称変更に伴う定款の一部変更、変更登記及び役員の登記が必要となる。又、承認しない場合は、解散となる旨の説明があった。一般社団法人への移行について承認された。

その他の議案

①50周年記念行事について、平成21年12月中旬又は平成22年5月に開催する。場所は東京とすると説明された。具体的な準備を行うに当たり、委員会を立ち上げ準備することで承認された。

②次期(平成21.22年度)役員選考委員の選出について、役員選考委員の選任は理事長に一任することで承認された。

平成20年12月12日(金)

有限責任中間法人 日本臨床検査学教育協議会

議 長	三村 邦裕	印
議事録署名人	利光 央	印
議事録署名人	吾妻 美子	印

定時総会・臨時総会・評議員会の報告

【平成18年度 定時総会】

開催日時：平成18年5月22日(金)13時～17時
 場 所：東京医科歯科大学1号館9階特別講堂
 加盟校数：73校
 出席校数：73校(委任状を含む)
 参加人数：104名

1. 議案審議

- 1) 第一号議案 平成17年度事業経過報告について
- 2) 第二号議案 平成17年度決算報告について
- 3) 第三号議案 平成17年度監査報告について
- 4) 第四号議案 平成18年度役員の選任について
- 5) 第五号議案 平成18年度事業計画案について
- 6) 第六号議案 平成18年度予算案について
- 7) その他について
 - ①第1回日本臨床検査学教育学会開催について
 - ②名誉会員について
 - ③賛助会員について
 - ④本協議会編実習書作成につて

上記1)～7)について承認された。

2. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省高等教育局医学教育課庶務係(併)看護教育係
 (併)医療技術係 係長 多田 典史 氏
 厚生労働省医政局医事課 指導係長 双川 歳昌 氏

◇別冊資料

○平成17年度事業経過報告資料 I

- 1) 『臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律』改正に伴う教育上の問題について(平成17年度秋期会議報告)
- 2) 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律の施行に向けた検討すべき事項について(平成17年度秋期会議報告)
- 3) 衛生検査技師資格者に対する臨床検査技師国家試験受験資格の講習のあり方について(平成17年12月26日提出)
- 4) 『昭和45年臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律公布』に伴う特例国家試験のための厚生大臣指定講習会が開催された背景とその内容について(平成18年1月23日提出)
- 5) 『臨床検査技師等に関する法律施行における受験資格の特例』のための指定講習会のあり方について(平成18年2月9日提出)
- 6) 『臨床検査技師等に関する法律に対する検討すべき事項』について(平成18年4月17日提出)
- 7) JICA(国際協力機構)カンボジア国医療技術者育成プロジェクト報告(抜粋)
- 8) 第52回臨床検査技師国家試験に関する報告
 厚生労働省に提出した意見書並び要望書(平成18年3月22日提出)

○平成18年度定時総会資料Ⅱその他【質問事項・通知等】

- 1) 文部科学省・厚生労働省への『質問事項』
- 2) 厚生労働省医政局長発
 『臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律の一部を改正する法律の施行等について』
- 3) 第52回臨床検査技師国家試験に関する資料

【平成18年度 臨時総会】

開催日時：平成18年12月11日(月)13時～17時
 場 所：東京医科歯科大学5号館4階講堂
 加盟校数：74校
 出席校数：74校(委任状を含む)
 参加人数：88名

1. 新規正会員の紹介

2. 議案審議

- 1) 第一号議案 組織運営規程(案)について
- 2) 第二号議案 役員選考規程(案)について
- 3) 第三号議案 役員選考委員会内規(案)について
- 4) 第四号議案 顕彰規程(案)について
- 5) 第五号議案 日本臨床検査学教育学会運営規程(案)について
- 6) 第六号議案 会費規程(案)について
- 7) 第七号議案 会計規程(案)について
- 8) 第八号議案 旅費規程(案)について
- 9) その他 役員選考委員会の選任について

上記1)～8)について、一部修正することで承認された。又、9)について承認された。

3. 報 告

- 1) 第1回「遺伝子分析科学認定士」認定試験実施について
- 2) 第2回日本臨床検査学教育学会開催について

4. 講 演

『看護教育の現状について』—社会が求める看護—
 日本看護学校協議会 会長 山田 里津 氏

5. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省高等教育局医学教育課
 医療技術係長 多田 典史 氏
 厚生労働省医政局医事課 指導係長 丸尾 良明 氏

【平成19年度 定時総会】

開催日時：平成19年5月21日(月)13時～17時
 場 所：東京医科歯科大学1号館9階特別講堂
 加盟校数：73校
 出席校数：73校(委任状を含む)
 参加人数：94名

1. 議案審議

- 1) 第一号議案 平成18年度事業経過報告について
- 2) 第二号議案 平成18年度決算報告について
- 3) 第三号議案 平成18年度監査報告について

上記1)～3)について承認された。

2. 次期理事長選挙 (役員選考委員会)

次期理事長に三村邦裕氏(千葉科大)が選出された。

3. 副理事長・常務理事の選任について

原案通り承認された。

4. 議案審議 (継続)

- 4) 第四号議案 次期理事・監事の選任について (役員選考委員会)
- 5) 第五号議案 平成19年度事業計画案について
- 6) 第六号議案 平成19年度予算案について
- 7) 第七号議案 学会評議員案について

上記4)～7)について承認された。

5. 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会中間報告

6. その他

- 1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会(案)について
- 2) 部会について
- 3) 退会について
- 4) (株)じほう 連載企画「臨床検査技師探訪(仮題)」について

7. 講演

『これからの病院検査室』

東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学

教授 宮地 勇人 氏

8. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省 高等教育局医学教育課

医療技術係長 多田 典史 氏

厚生労働省 医政局医事課 指導係長 丸尾 良明 氏

前河裕一(千葉科大). 松浦雅人(医歯大). 戸塚実(医歯大). 窪田哲朗(医歯大). 小山高敏(医歯大). 鈴木敏恵(文京学大). 下村弘治(文京学大). 望月泰男(昭和医専). 谷口智也(昭和医専). 小林隆志(東洋公衆). 松村充(帝京大). 加賀宏(帝京大). 岡部紘明(東京文短). 伊藤昭三(東京文短). 柴田明佳(東京文短). 島幸夫(杏林大). 古畑勝則(麻布大). 奥村伸生(信大). 高宮脩(信大). 藤田清貴(信大). 木村明(北里大). 渡辺正友(新潟医専). 岩淵三哉(新潟大). 大竹茂樹(金大). 川田憲司(岐阜医大). 山岡一清(岐阜医大). 横井豊治(名大). 伊藤康宏(藤田保衛大). 金子千之(藤田保衛大). 寺平良治(藤田保衛短). 勝田逸郎(藤田保衛短). 小澤勝(京都保衛専). 船渡忠男(京大). 池本正生(京大). 依藤史郎(阪大). 白川卓(神大). 川純一(神戸常盤短). 酒井健雄(神戸常盤短). 藤岡由夫(神戸学大). 合田清(神戸学大). 所司睦文(川崎医短). 永瀬澄香(川崎医短). 榎本泰雄(岡山理大). 谷口菊代(広島医専). 山田治(山大). 徳永幸夫(山大). 市原清志(山大). 石川敏三(山大). 日野啓輔(山大). 岡野こずえ(山大). 上田順子(山大). 山城安啓(山大). 徳永賢治(香川県保大). 上野一郎(香川県保大). 真鍋紀子(香川県保大). 立石謹也(香川県保大). 高岡栄二(高知学短). 武市和彦(高知学短). 嶋田かをる(熊本保科大)

2. 議案審議

- 1) 第一号議案 評議員会内規について
- 2) 第二号議案 第3回・第4回日本臨床検査学教育学会について

上記1)～2)について承認された。

【平成19年度 臨時総会】

開催日時 : 平成19年12月13日(木)13時～17時

場 所 : 東京医科歯科大学5号館4階講堂

加盟校数 : 74 校

出席校数 : 74 校 (委任状を含む)

参加人数 : 79 名

1. 報告事項

- 1) 新規正会員の紹介
- 2) 第2回日本臨床検査学教育学会学術大会について

2. 議案審議

- 1) 第一号議案 組織運営規程の一部修正について
 - 2) 第二号議案 委員会等の会則について
 - ①総務部 : a) 教材開発委員会, b) 調査研究委員会
 - ②将来問題検討委員会 : c) 4年制教育部会, d) 3年制教育部会
 - ③地区組織委員会 : e) 地区部会
 - ④広報部 : f) 広報委員会, g) 国際協力委員会
 - ⑤日本臨床検査学教育学会運営委員会 : h) 機関誌編集委員会, i) 研修会委員会
 - 3) 第三号議案 教育学会評議員会内規の一部修正について
 - 4) その他の議案
 - ①第3回日本臨床検査学教育学会学術大会について
- 上記1)～4)について一部修正することで承認された。

3. その他

- 1) 「遺伝子分析科学認定士」制度について
- 2) 「日本衛生検査所協会発行の単行本贈呈並びに新刊のご案内」について

【平成19年度 学会評議員会】

開催日時 : 平成19年8月27日(月)11時30分～12時30分

場 所 : 香川県県民ホール・北館4階 大会議室

参加人数 : 69 名

1. 報告事項 評議員選任について

○理 事(18名)

三村邦裕(千葉科大). 加藤亮二(香川県保大). 市村輝義(天理医). 藤健次(医歯大). 狩野元成(大東文大). 大西英文(昭和医専). 信岡学(北医専). 鈴木優治(埼玉県大). 森田耕司(杏林大). 芝紀代子(文京学大). 今井正(東京文短). 長村洋一(千葉科大). 岩谷良則(阪大). 吾妻美子(高知学短). 永尾暢夫(神戸常盤短). 小市加陽子(近畿医専). 大澤進(九大). 利光央(美萩野医専)

○自薦(77名)

森山隆則(北大). 中野京子(弘大). 浦山修(筑波大). 真尾仁志(栃木県衛). 楯恒子(栃木県衛). 江本正志(群馬大). 城田恵次郎(東武医専). 川口克彦(東武医専). 和合治久(埼玉医大). 鈴木正彦(埼玉医大). 村田栄子(埼玉医大). 近藤弘(大東文大). 小林芳郎(東邦大). 戒野棟一(東邦大). 丹羽和紀(東邦大). 藤谷登(千葉科大). 福留伸幸(千葉科大). 熊取厚志(千葉科大).

4. 講演

『臨床工学技士の現状と今後について』

日本臨床工学技士教育施設協議会

会長 中島 章夫 氏

5. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省高等教育局医学教育課

医療技術係長 中村 栄作 氏

厚生労働省医政局医事課 指導係長 丸尾 良明 氏

【平成20年度 学会評議員会】

開催日時：平成20年8月20日(水) 11時30分～12時30分

場所：九州大学医学部百年講堂 中ホール

参加人数：58名

1. 報告事項 評議員選任について

2. 議案審議

1) 第一号議案 学会誌発行について

上記1)について承認された。

3. その他

1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会について

2) 第4回日本臨床検査学教育学会について

【平成20年度 定時総会】

開催日時：平成20年5月23日(金) 13時～17時

場所：東京医科歯科大学 1号館9階特別講堂

加盟校数：73校

出席校数：73校(委任状を含む)

参加人数：87名

1. 議案審議

1) 第一号議案 平成19年度事業経過報告について

2) 第二号議案 平成19年度決算報告について

3) 第三号議案 平成19年度監査報告について

4) 第四号議案 平成20年度事業計画案について

5) 第五号議案 平成20年度予算案について

6) その他の議案 ①理事の退任・解任等について

②学術誌の発行について

上記1)～6)について承認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会・研修会委員の選任について

2) 国家試験の早期発表について

3) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会中間報告

3. その他

1) 第4回日本臨床検査学教育学会学術大会について

2) 退会について

4. 講演

『日本衛生検査所協会の現状と近未来について』

社団法人日本衛生検査所協会

常務理事 箕輪 正和 氏

(株)シオノギメディカルラボラトリー代表取締役社長)

5. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省 高等教育局医学教育課

医療技術係長 高橋 慶匡 氏

厚生労働省 医政局医事課 指導係 武藤 慎吾 氏

◇別冊資料

○定款・諸規程・会則

○『臨床検査技師国家試験出題基準』検討資料

○平成20年度定時総会資料(報告事項)

1. 第54回臨床検査技師国家試験に関する報告

1) 厚生労働省に提出した意見書並びに要望書

2) 第54回臨床検査技師国家試験に関する資料

2. JICA(国際協力機構)

カンボジア国医療技術者育成プロジェクト報告

【平成20年度 臨時総会】

開催日時：平成20年12月12日(金) 13時～17時

場所：東京医科歯科大学 1号館9階特別講堂

加盟校数：73校

出席校数：73校(委任状を含む)

参加人数：71名

1. 報告事項

1) 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会について

2) 第4回日本臨床検査学教育学会学術大会について

3) 学術誌創刊号発行について

4) 大学検査科学専攻微生物学教員懇談会との共催について

5) 平成20年度 顕彰委員会報告

6) その他

2. 議案審議

1) 第一号議案 名誉会員について

2) 第二号議案 第5回日本臨床検査学教育学会学術大会について

3) 第三号議案 有限責任中間法人から一般社団法人への移行について

4) その他の議案

①50周年記念行事について

②次期役員選考委員の選出について

上記1)～4)について承認された。

3. 講演

1) 『高等教育機関を取り巻く環境と今後』

— 競争の中で今後の生き残りの方向を考える —

株式会社 リクルート進学カンパニー 企画室

進学総研グループ 主任研究員 寺裏 誠司 氏

2) 『国立病院機構の現状と将来展望』

独立行政法人 国立病院機構本部 医療部 医療課

臨床検査専門職 奥田 勲 氏

4. 文部科学省・厚生労働省からの指導・助言

文部科学省 高等教育局医学教育課

医療技術係長 高橋 慶匡 氏

厚生労働省 医政局医事課 指導係 武藤 慎吾 氏